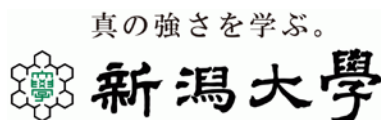


PRESS RELEASE (2017/8/8)



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学総務企画部広報課
〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目
TEL 011-706-2610 FAX 011-706-2092
E-mail: kouhou@jimu.hokudai.ac.jp
URL: <http://www.hokudai.ac.jp>

北海道大学・新潟大学共同申請

平成 29 年度「大学の世界展開力強化事業（ロシア）」 プラットフォーム構築プログラムの採択について

プログラムのポイント：

- ・北海道大学と新潟大学が中心となり、日露経済協力プランの 8 項目に貢献する人材を持続的に育成するプラットフォームを構築。
- ・日露両国の多様な地域ステークホルダーが協働するコンソーシアムを構築。
- ・日露の他大学の参画を得て、日露経済協力プランに基づく「人材交流セクション」と「専門セクション」を軸とした人材育成と交流を推進。

概要：

北海道大学（以下、「北大」）は、新潟大学（以下、「新潟大」）と共同で申請した、平成 29 年度文部科学省補助金事業「大学の世界展開力強化事業（ロシア）」プラットフォーム構築プログラムに、8 月 8 日（火）に採択されました。

平成 29 年度「大学の世界展開力強化事業（ロシア）」プラットフォーム構築プログラムでは、日本とロシアの大学間交流の情報や経験を集約し、活用するためのプラットフォームを構築する他、平成 28 年 5 月の日露首脳会談で提示された「ロシアの生活環境大国、産業・経済の革新のための協力プラン（8 項目の日露経済協力プラン）」に寄与する人材育成、同年 12 月の日露首脳会談において設立された「日露大学協会」の具体的な活動計画の立案が求められています。北大と新潟大が共同申請した事業案は、「8 項目の日露経済協力プラン」を受け、両大学が、産業界や地方公共団体等の協力を得て「医療健康」、「都市づくり」、「中小企業交流」、「エネルギー開発」、「産業多様化促進」、「極東の産業振興」、「先端技術協力」、「人材交流促進」などの 8 分野での日露交流の全面的拡大及び発展に積極的に寄与する取組を行うことを目指しています。

北大と新潟大は、共に①ロシアとの教育研究交流の多岐にわたる実績、②極東をはじめロシア全域に及ぶ独自のネットワーク、③地域の自治体や経済界との強いつながりをもっています。この度採択された「大学の世界展開力強化事業（ロシア）」プラットフォーム構築プログラムにおいては、北大が北海道で、新潟大が新潟県で構築してきた地域コンソーシアムをさらに発展進化させ、他の日露交流を推進する大学にも地域の多様なステークホルダーとの協働により実現するコンソーシアム形成

を提唱し、これらを有機的に連携させることで、北大と新潟大が中心となり、日露の大学が参画する「日露共同専門教育機構（仮称）」の5年後の構築を目指します。

開始時期：

平成 29 年 8 月

背景・経緯：

北大は、スラブ・ユーラシア研究センターで、長年多様な研究と人材育成を行ってきました。近年では、新たに北極域研究センター等を設置して、ロシアを中心に寒冷地をフィールドとした産学連携と人材育成を推進しており、さらに先端技術分野でも、ロシアとの連携を強化しています。これらの実績を基に、世界展開力強化事業として分野横断的な「RJE3 プログラム^{※1}」を開始し、高度専門家育成に取り組んでいます。

他方、新潟大では、大学の重点課題である「環東アジア」地域教育研究拠点構想の中核にロシア交流を見据え、これまでシベリア・極東の協定校と約四半世紀にわたり行ってきた学生交流・医学交流をさらに発展させた世界展開力強化事業「G-MedEx^{※2}」により、グローバル医療人育成に取り組んでおり、また、農業県の立地を活かした食品科学、農学分野での高度専門人材育成の経験も有しています。

北大と新潟大は、極東地域を中心にそれぞれロシアと活発に連携する分野があり、強力なネットワークを構築してきた実績があります。それぞれの実績を活かしつつ、これを補完し合いながら、日露大学協会へ、日露経済協力プランの8項目に貢献する人材を持続的に育成する計画を共同で申請しました。

※1 RJE3 プログラム：East Russia-Japan Expert Education Program（極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム）

※2 G-MedEX：Globalization and Medical Exchange Project for Career Development of Young Students in Japan and Russia（日露の経済・産業発展に資するグローバル医療人材育成フレームワークの構築プロジェクト）

プラットフォーム構築プログラムの内容：

日露経済連携強化に向け、これまでの世界展開力強化事業等を通じて、大学、地域自治体や地域企業も含む、北海道地域コンソーシアム、新潟地域コンソーシアムを中心として、多様なステークホルダーを取り込んだ地域コンソーシアムを日本側、ロシア側に構築していきます。

同時に、「日露共同専門教育機構（仮称）」の設置に向けて、教育の質の保証を行い人材交流の促進を目的とする「日露人材交流委員会」、また、日露間の協力プランで定められている項目に対応する「専門セクション委員会」と称する二つの運営委員会を置きます。これら二つの委員会には、人材交流を含め8つのセクションが設けられますが、中でも専門セクション委員会では、日本側・ロシア側各2校が幹事大学となり、中心的に取り扱う当面のテーマを決め、それに賛同する研究者が、企業や

自治体、ロシア側の研究者と連携して、専門人材の育成に取組み、定期的に研究発表や情報交換を行い、さらには、分野横断的な取組みを推進していきます。

地域コンソーシアムには、ロシアとの連携に関心を有する民間企業や地方自治体の積極的な加盟を募り、インターンシップや就職や支援を行うことで、「日露共同専門教育機構（仮称）」へ貢献することを想定しています。一方、「日露共同専門教育機構（仮称）」内に設置される「日露人材交流委員会」及び「専門セクション委員会」で育成する専門家は、それぞれの地域コンソーシアムの大学・地方自治体・地域企業等に人材を輩出することを想定しており、相互的な支援が可能になるような取組みとなる予定です。

平成 30 年 5 月頃に北大にて開催予定の第 1 回「日露大学協会総会」に向け、既に取り組みが進んでいる「医療健康」、「都市づくり」、「農業技術」及び「人的交流の拡大」に関する専門セクション委員会をはじめ、その他のセクションの運営委員会についても他の大学にも参画を求めながら、日露共同での教育や研究のプログラムを実施します。また、これまでの世界展開力強化事業の採択校連絡会を発展させ、「日露ジョイントコンソーシアム」の加盟機関を対象とした「日露産官学連携フォーラム」を定期的に開催し、グッドプラクティスの共有や専門的な知識や技術力の向上を目指します。

並行して、本年 9 月にはウラジオストクで開催される東方経済フォーラムに併せて日露学生シンポジウムと医学交流シンポジウムを開催し、11 月には札幌で日露青年フォーラムを開催するなど、日露間の教員、学生の交流を促進していきます。

来年 5 月の「日露大学協会総会」では、これらの専門セクションでの成果を報告すると共に、学生や若手研究者のための研究成果発表の場を設定する予定です。

お問い合わせ先

【プラットフォーム構築プログラム】

北海道大学 国際連携機構

TEL : 011-706-8013 FAX : 011-706-8037 E-mail : j.yoshida@oia.hokudai.ac.jp

新潟大学 学務部留学交流推進課

TEL : 025-262-6935 FAX : 025-262-7519 E-mail : soumukokusai@adm.niigata-u.ac.jp

【北海道大学 RJE3 プログラム】

北海道大学 国際部国際交流課

TEL : 011-706-8143 FAX : 011-706-8037 E-mail : RJE-3@oia.hokudai.ac.jp

【新潟大学 G-MedEx プログラム】

新潟大学 G-MedEx 統括センター

TEL : 025-227-2063 FAX : 025-227-2088 E-mail : g-medex@med.niigata-u.ac.jp